

BC州における薬物使用者の 非犯罪化

非犯罪化により、BC州では18歳以上の成人が特定の違法薬物(オピオイド、クラックコカイン、粉末コカイン、メタンフェタミン、MDMA)を特定の場所での個人使用のために少量所持(「保有」)することができるようになります。

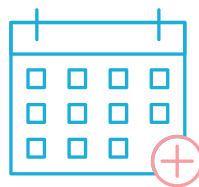
理由

薬物使用は公衆衛生の問題であり、犯罪の問題ではありません。非犯罪化によって、人々が助けを求めることを躊躇する原因となる恥ずかしいという気持ちや刑事訴追への恐怖を軽減させることができます。非犯罪化を特定の場所に限定することで、この目標と、コミュニティの人々全員にとって安全で利用しやすい公共の場を保つことの重要性とのバランスを取ることができます。



対象者

BC州の18歳以上の成人。18歳未満の方には、適用されません。



期間

2024年5月7日から
2026年1月31日まで。



場所

個人住宅、住居がない個人の合法的な避難所、過剰摂取防止施設、薬物検査施設、監視付き消費施設、およびBC州の依存症外来診療施設。

非犯罪化されるもの

BC州の18歳以上の成人は、個人使用目的で総量2.5グラム以下の以下の非合法薬物を所持(「保有」)することが許可されています。

- オピオイド(ヘロイン、モルヒネ、フェンタニルを含む)
- コカイン(クラックコカインおよび粉末コカインを含む)
- メタンフェタミン(メス)
- MDMA(エクスタシー)

非犯罪化は以下に適用されます。

- 個人住宅
- 住居のない個人が合法的に避難できる場所(屋内および屋外の場所)
- 過剰摂取防止、薬物検査および監視付き消費施設
- 外来依存症治療サービスを提供する場所

これらの場所では、18歳以上の成人が逮捕、起訴されたり、罰金が科せられる、薬物が押収されるなどの処置はありません。その代わりに、自発的に受けられる健康および社会的な支援に関する情報が提供されます。

BC州で引き続き違法であるもの

18歳以上の成人でも以下を所持することはできません。

- 免除の対象となる薬物の合計量合計量2.5グラム以上
- 免除の対象とならないその他の非合法薬物
- 病院、企業、交通機関、公園といった公共の場でのあらゆる薬物所持

公共の場での薬物消費は、免除の対象となる場所を除いて引き続き違法です。

18歳未満の青少年は、いかなる量の薬物も所持することはできません。

違法薬物は合法ではありません。これらは次の事柄を行えません。

- 輸出入
- 生産
- 売買
- 州境や国境を越えて持ち出す

改訂された免除規定の下では非犯罪化はどこに適用されますか？

個人住宅内：個人住宅とは、居住目的のみに使用される建物、建物の一部、またはトレーラーであり、居住者が使用することを目的とした隣接する不動産（プライベートバルコニーや裏庭など）も含まれます。また、ホテルやモーテルなどの宿泊施設にある個室を指す場合もあります。

住居のない人が合法的に避難している場所：ある場所で避難することを禁止する条例がない場合、その人は合法的に避難していることになります。この定義には、屋外の場所と屋内の緊急避難所の両方が含まれます。警察は、人々が様々な種類の避難所（例：寝袋、テント、タープなど）を使用するであろうこと、そしてテント内での薬物喫煙には安全上の考慮事項（例：火災の危険性）がありうることを認識しています。注意：非犯罪化は、適用される条例や避難場所に関するポリシーに優先するものではありません。

指定医療機関内：指定医療機関には、主にハームリダクション（過剰摂取防止、薬物検査、監視付き摂取施設など）や外来依存症サービス（依存症救急クリニックやその他の地域ベースの治療クリニックなど）を提供するクリニックが含まれます。